

| | | | |
|----|-------------|----|------|
| 教科 | 技術・家庭(技術分野) | 学年 | 第1学年 |
|----|-------------|----|------|

| 単元名 | 時数 | 単元の到達目標(小単元のねらい) | 単元のまとまりの評価規準 | | |
|--------------------|----|---|---|--|--|
| | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 技術分野のガイダンス | 1 | ・技術分野の学習の見通し ・学習内容の紹介 | | | ・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態) |
| 生物育成の技術の原理 | 9 | 生物の育成に適する条件や環境を管理する技術を知る。 | ・生物を育てる技術の目的について理解している。 | ・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫を読み取り、「技術の見方、考え方」に気づくことができる。 | ・主体的に生物育成の技術について知ろうとしている。 |
| 生物育成の技術による問題解決 | 10 | ・栽培を通じた学習 | ・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技能を身に着けている | ・育成する作物に適した環境条件について考えている。 ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身につけている。 | ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。 |
| 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み | 2 | ・材料の比較、特徴 ・工具の使用法の理解 | ・身の周りの製品に生かされている材料の特性と、材料に適した加工方法について理解している。 | | ・主体的に材料と加工の技術について考えようとしている。 |
| 作品制作 | 7 | ・けがき ・材料の切断 ・部品加工 ・組み立て ・製品の点検、修正 ・製品の仕上げ | ・製作品の機能や構造を考えた設計をすることができる。 ・使用目的、使用条件、機能を明確にしている。 ・材料によって構造をじょうぶにする方法が異なることを理解している。 | ・構想したものの形を図で表すための工夫をしている。 ・材料の特徴を活かして製作品に用いるために工夫している。 ・製作品の使用目的にあわせて構造の工夫をしている。 | ・製作したいものを意欲的に考え、目的とするものを表示しようとしている。 |
| 製図 | 6 | ・製図に必要な基礎知識(線の引き方、記号の意味) ・キャビネット図の描き方 ・等角図の描き方 ・第三角法の描き方 | ・図の特徴を理解しており、正しく描くことができる。 | ・例題をもとに構想及び形を図で表すことができる。 | ・例題などを意欲的に考え、作図ができる。 |